令和４年９月１日

保護者の皆様へ

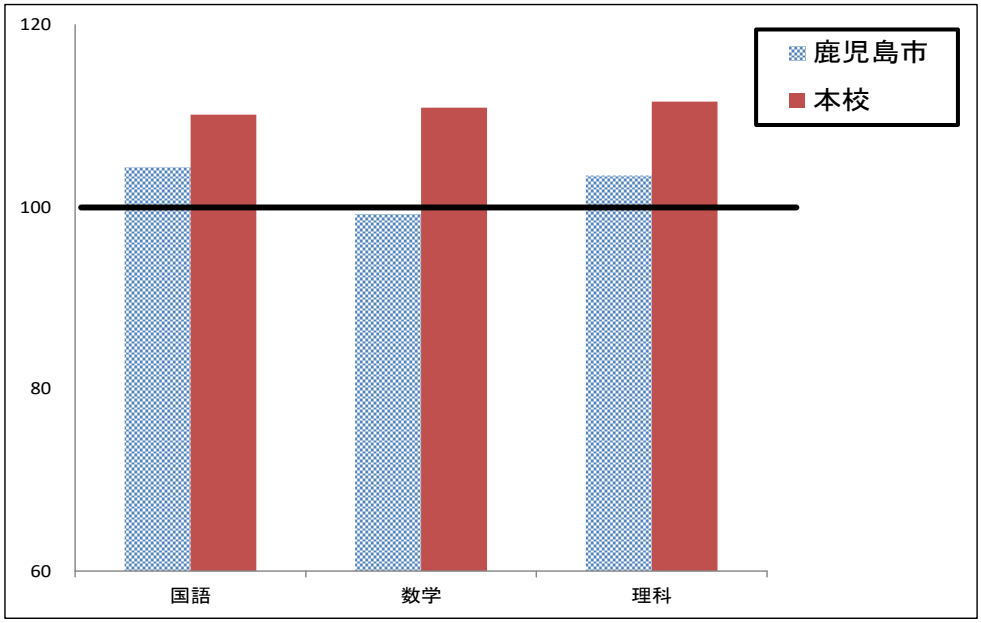
鹿児島市立西紫原中学校
校　　長　　松本　　遵

令和４年度「全国学力・学習状況調査」結果について

日頃より，本校の教育活動に御理解・御協力をいただき，誠にありがとうございます。

さて，４月に，中学３年生を対象に，「全国学力・学習状況調査」が実施されました。調査の内容は，国語，数学，理科の３教科と，生活習慣や学習環境に関する質問を行う質問紙調査です。本校の調査結果と今後の対応策についてお知らせします。

１　本校・市・全国の平均正答率の比較〈全国平均正答率を１００とする棒グラフ〉



２　本校の課題に対する改善策

【国語】

全体的に定着度が高く，特に，表現技法などの言語に関することや，物語文での事象や行為，心情の読み取りについての理解度が高いです。また，場面と場面，場面と描写などを結び付けて内容を解釈する力も高くなっています。

一方，書写の分野で，行書の特徴や書き方についての理解度が低くなっています。また，自分の考えが伝わる文章になるように，根拠を明確にして書くことは概ねできていますが，個人差が大きくなっています。書くことに必要な情報を引用したり，書いた内容を推敲したりする力をつける必要があります。

上記のような課題を改善するために，次のような取組を今まで以上に徹底していきます。

- 漢字，語句，文法，表現技法などの言語に関する学習が定着するよう，継続して問題練習に取り組んでいきます。
- ２学期に書写の授業を実施し，行書の目的や特徴を学習し，実技を行います。
- 自分の考えが相手に伝わる文章になるように，根拠を明確にして文章を書くことに取り組んでいきます。
- 自分の意見と他人の意見を，交流を通して比較したり評価したりする活動をより多く取り入れ，考えの幅を広げたり推敲する力を高めたりすることができるようにします。

【数学】

「数と式」,「図形」,「関数」,「データの活用」のすべての領域,「知識・技能」,「思考・判断・表現」いずれの観点においても，全国や県の平均を上回っていました。

しかし，素因数分解を行い自然数を素数の積で表す問題，反例の意味の理解を問う問題の正答率が低かったです。また，文字やデータを活用して説明を行う問題，問題解決の方法を数学的に説明する問題，図形の性質について筋道を立てて考え事柄が成り立つ理由を説明する問題の正答率も低かったです。

上記のような課題を改善するために，次のような取組を今まで以上に徹底していきます。

- 基本的な計算問題とともに，素因数分解の問題練習にも定期的に取り組んでいきます。
- 思考力・表現力を伸ばすために，県教育委員会が作成している「かごしま学力向上支援Ｗｅｂシステム」の評価問題に継続的に取り組んでいきます。
- 図形の証明問題や数学的な表現を使った説明問題等を定期テストで出題し，多くの問題に取り組むことを通して，論理的に説明する力を高めていきます。

【理科】

全体的に定着度が高く,「知識・技能」の定着を問う問題の正答率は全国や県の平均よりもかなり高かったです。「知識・技能」を活用した「思考・判断・表現」の能力を問う問題の正答率も高かったです。記述式の問題の無答率が低く，粘り強く問題に取り組む姿勢が身に付いてきたこと，主語や根拠を明確にした文章の書き方が身に付いてきたことがその要因として考えられます。

一方，天気図の読み取りや物質の状態変化に関する問題の正答率が低かったです。複数の図表のデータから情報を読み取り，考察し，根拠を明確にして説明する能力を向上させる必要があります。

上記のような課題を改善するために，次のような取組を今まで以上に徹底していきます。

- 授業においては，考察の過程を表現する活動の充実に取り組みます。「結果が〇〇だったことから，△△になると考えられる。」という表現方法を定着させ，事象について分析して解釈する力の向上に努めます。
- 日常生活においても，身の回りの事象に対して「なぜ」と問い，主体的に探究する態度を身に付けさせていきます。

【全体的に】

家庭学習の定着と質の向上を目指し，家庭学習の進め方について指導を行っていきますので，ご家庭での見届けをお願いします。また，言葉の力を向上させるために，読書や新聞に親しむ習慣を身に付けさせてください。

また，規則的な生活習慣を定着させたり，お子様がネットトラブルに巻き込まれることを防いだりするために，携帯電話やスマートフォン，ゲームなどの使用時間を決めるなど，家庭内でルールをつくってください。

そして，お子様の将来の夢や目標についてご家庭でも話し合っていただき，目標に向かって努力するように励ましていただきたいと思います。